

勝手放題、

日本は異常な「米軍基地国家」

いまなお、沖縄はじめ全国には130余の米軍基地が置かれ、5万人近い米軍が居座っています。

日本にある米軍基地は、真っ先に戦地に乗り込む海兵隊などアメリカの世界戦略の重要な出撃拠点。戦闘機の騒音や、墜落事故が相次ぎ、米兵による凶悪犯罪も後を絶ちません。

昨年、横須賀に「動く原発」＝米原子力空母が配備され、首都圏3000万人の安全が脅かされています。



また、大阪港や大阪空港の軍事使用は年を追って拡大されています。

1960年6月23日に、当時、国民的な大反対を押し切って発効した現行の日米安保条約。来年で半世紀になります。「6・23行動」は安保体制を告発し、日米安保条約の廃棄を求める行動です。

安保廃棄6.23集会
6月23日 (火) 午後6時半開会

扇町公園 (環状線天満 地下鉄扇町駅)

※キッズ・プラザ横の公園です。

集会場では「全教豊中」ののぼりをたてています。

主催／安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

日本とアメリカからの従属関係の安否条約なくし対等・平等の関係を!

雇用やくらしを破壊して、
アメリカ支援に3兆円

金融・経済危機のもと、大企業の雇用破壊、「派遣・下請け切り」が深刻な問題です。しかし政府は、企業の横暴を正すどころか、年金や医療・介護、福祉の切り捨ての政治を続けています。

「軍備は持たない」はずの日本の軍事費は、なんと年間5兆円。世界第5位です。

米軍には「思いやり予算」をはじめ、年間6000億円も駐留経費を提供。さらに「1戸8000万円の米軍住宅を、3500戸建設」予定など、グアム基地強化のために3兆円もの国民の税金を提供しようというのが、「日米同盟最優先」の政治です。

自衛隊の海外派兵拡大
恒常化は許せない

昨年4月、名古屋高裁が「自衛隊のイラク派遣は憲法違反」と断罪する画期的な判決を下しました。その時、「そんなの関係ねえ」と暴言を吐いたのがあの田母神・元空自幕僚長です。

自衛隊はイラクからは撤退しましたが、今度は「海賊対策」を口実に、ソマリア沖へ出動、海外派兵をますます拡大させています。

政府はアメリカの要求に応じて「海外派兵恒久法」の制定を急いでいます。



2009年6月9日
NO、437

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Webページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

とよなか

全教豊中教職員組合

社会的連帯を強化し、はたらくルール、貧困と格差解消めざすたたかいを！
府労組連が教職員・府職員の願い、要求実現にもつけてたたく

とする橋下知事の政治姿勢があることは明らかです。

府民共同をすすめていくこと、また雇用・賃金破壊など大企業横暴を許さない社会的連帯、労働者派遣法の抜本的改正や最低賃金の大幅引き上げなど、すべての労働者の賃金底上げと雇用確保のたたかいをすすめていくことが重要になっていきます。

大教組と府職労でつくる府労組連は夏季要求を提出し夏季闘争をおこなってきました。

府当局は5月20日に0・2月一時金凍結を提案。

府労組連は5年目になる一時金カット(4%)や懲戒処分を匹敵する給与カットなど、職員の生活難を全くかえりまない府当局の不当性を追及。最終的に凍結幅0・05月縮小させることはできたものの、提案の不当性を根本的に変更する回答を得ることはできませんでした。

府労組連は、この提案の本質は①公務と民間との共同のたたかいの分断させ、民間と公務の賃下げサイクルを加速させる ②公務員パッシングで自民・公明の与党勢力の浮揚をはかるねらいであると指摘してきました。

府労組連集会などで出された教職員・府職員の声

【府職労】

夏季闘争後半では、勤務時間短縮を最重点に位置づけてとりくみました。しかし、時短問題でも実施に向けた明確な回答がおこなわれなかったことは、その背景に「コスト増は許せない」

○五月から九時以降の時間外勤務の禁止と「庁舎一斉消灯」が行われている。二一時が退庁時刻かと思わせる「集団退庁」、「早出出勤」が増えていきます。もともと人員が少なく、時間外労働をしなければ仕事をこなせない事態であり、「持ち帰り残業」「サービスマン」が蔓延。
○保健所はこの四月医師をはじめ多くの欠員状態のもとで今年度をスタート、このような状況で、産育休も取れない。その上、今回のインフルエン

賃金をめぐる攻防は、人事院勧告、秋の府人事委員会勧告、そして秋季年末闘争へと継続されていきます。府民要求と教職員・府職員の要求とを固く結んで、橋下「行革」を許さない官民一体、

【大教組】

ザ対応で、職員はくたくた。府民の健康を守るためにも、体制強化は急務。欠員は直ちに解消を。
○教員は、昼休みは取れない、トイレに行く時間も無いような状態で勤務。緊張と過密労働のもとで精神疾患、現職死亡が増えている。大阪市内では、07年の退職者の圧倒的多数が精神疾患。(30代は、22人中20人、40代が53人中41人、50代では、一三五人中91人) 職場では、「四人も休職者がでた」「代替がくるか」など悲鳴を上げている。大阪市と堺市は、7時間45分の勤務となっている。15分の時間短縮は切実だ。

○女性部アンケートには、深刻な実態が数多く告発されている。「管理職からの暴言等を目撃した青年が精神疾患で休職」「新採教員に、一時間前に出勤して掃除をしろと管理職の命令」「若い人は生休をとるな」などパワハラが横行している。この背景には評価・育成システムや人権侵害を曖昧にしている府教委の姿勢がある。

育児短時間制度は、代替者との引継ぎ時間が取れず、帰りに帰れない、働きながら子育てをすることを困難にし、教育の質も保てない。京都や兵庫のように一時間をダブらして引継ぎが出来るよう強く要求する。

参加43名

5月16日、第3弾となるパワーアップ講座が、豊中第1中学校で行われ、43名の参加がありました。

表現のおもしろさを体感 そして みんな上達 POWER UP講座 第3弾 安武一雄さんの体育「マット運動」講座



恒例のミニ講座では、15分間で4つの『体ほぐしゲーム』を行い、「ゴリラがきたぞー!」と、体育館内をみんなで走り回りました。安武一雄さんの体育講座。50年を超える体育同志会(民間教育研究団体の一つ)で育まれた『器械運動は表現のおもしろさ』を理解した上で『みんなができる』

ポイントを、楽しく体験しました。

マット特有の動きは『ねこちゃん体操』で、側転につながる動きは『くまあるき』『ライオンの山あるき』で段階的に。手型・足型やゴムを使つてのグループ学習。目線の動きは手の甲に目玉マークをつけて。

グループごとに励まし合いながらのあつという間に上達できた2時間でした。

終了後も残つて練習する姿が見られ、「体育第2弾をやつてほしい」との声もあがりました。

第4弾 理科講座

「わくわくドキドキ」

理科実験

6月20日(土)

午後1時半～4時

場所

蛍池ルシオーレホール

講師 三上 周治さん

(奈良教育大学)

付属小学校

昨年4月に引き続き、三上さんの理科講座。今回も楽しい理科の講座を準備してくださっています。



手元に置いておきたい一冊

学級づくり・授業づくり・教材研究に！

『とよなか 歴史・文化財ガイドブック』

豊中市教育委員会生涯学習推進室の地域教育振興課が08年3月に編集発行しています。

豊中を4つのブロック（北東部・北西部・中央部・南部）に分けて、市内にある遺跡や寺社などの歴史的な文化財、約200か所を写真と解説で紹介しています。

小学校3年・4年生は豊中地域の学習やその地域の学習をおこないます。地域のことを教える教師自身が知らないという授業で困ることがたくさんあります。

また、歴史の学習としても教科書的な内容から、この豊中の歴史を重ねることが出来ます。

桜井谷周辺の窯跡群、万葉集にうたわれた島熊山、待兼山と清少納言、市内中央部の古墳群など、たくさん紹介されています。

目にするのできる具体的なもので、また、身近な豊中の話をする中で、子どもたちにもぐっと地域が歴史が身近な存在になるのではないのでしょうか。

この本を購入すると、とよなか文化財めぐりのモデルコースを掲載した市内地図（A1判）がついてきます。教室に掲示しておくと、3・4年生の子どもたちにとって、私たちの街とよながが身近に感じられます。

A5判・オールカラー78p
価格 500円
(ガイドブック+地図)

○販売場所

市役所地下売店

地域教育振興課（市役所6階）

